

多久駅周辺 中心市街地づくりの今

●特集●多久駅周辺土地区画整理事業

多久駅新駅舎が完成して2年。整備が進むその周辺には、新装した店舗が徐々にオープンし、「今後どんな街並みができるのだろう」と関心が高まります。

しかし、駅北側の整備はまだこれからで、市民のみなさんからは、「いつごろ完成するの?」と待ち望む声や「二体どんな整備が行われているの?」との声も聞かれます。そこで、今回は多久駅周辺土地区画整理事業と、その進捗状況をお伝えします。

平成26年度末の完成を目指し、土地区画整理事業進行中

現在、JR多久駅周辺では、「中心市街地の活性化」を目指した土地区画整理事業を行っています。

工事は、平成8年に着手。道路・河川・公園などの公共施設を整備し、宅地の利用増進を図りながら、平成26年度の事業完了を目指し、順次整備を進めています。

現在までに多久駅南側宅地の整地、駅舎の移転、道路、公園、街路灯の整備など、全体事業の7割程度を完了。今後は、駅北側の宅地整備をはじめ、駅前広場、道路や山犬原川の整備などを進めて行きます。

土地区画整理事業とは?

道路や公園などの公共施設の整備や改善を行ったり、宅地の形を整えたりする事業です。道路を整備することで車や歩行者が安全に快適に利用でき、子供たちの遊び場や市民の憩いの場として公園が確保できます。さらに上下水道などの生活基盤が充実することで、より快適な生活を送ることができるようになります。

中心市街地づくり

中心市街地とは、お店や事業所など様々な機能が集まり、生活や娯楽、交流の場としてそのまちの活力を生み、いわば「まちの顔」とも言うべき場所のことを言います。

多久駅周辺は、昭和30年代から40年代に石炭産業で栄えてきた場所です。中心市街地として当時はかなりのにぎわいを見せていましたが、石炭産業の衰退による人口の減少、商業を取り巻く環境の変化、少子・高齢化社会を背景に、まちの元気はなくなってきました。

しかし、そういう状況下でも、市民の意識として多久駅周辺は多久の顔であり、多久駅周辺の活性化は多久の元気を取り戻すための重要な課題となっています。